

コード	20401
作成年度	22年度

基本事業評価表

基本事業名称	安全で良質な水の安定供給の推進
--------	-----------------

総合計画の位置付け	
政策名称	安全、便利、快適な生活環境づくり
施策名称	暮らしを支える水道の整備

課コード	114	関係課名	若松支所、新魚目支所、有川支所、奈良尾支所
主管課名	水道課		

基本事業の目的

水道は、住民の健康で快適な生活を支えるライフラインとして、また、企業などの経済活動を支える社会基盤として、いつでもどこでも、安心安全な水道水を安定的にかつ低廉な価格で供給することを目的とする。

基本事業の成果

成果指標名称 1	給水原価	成果指標名称 2	*****
成果指標の積算根拠	(経常費用＋受託工事費＋地方債償還金)／年間総有収水量	成果指標の積算根拠	*****
目標達成年度	平成26年度	目標達成年度	*****
目標達成数値	円削減(306.7円[H16]－300円[目標])	目標達成数値	*****

年 度		H18		H19		H20		H21		H22	
成果指標1	目標 A	単 位	円	6.7(300)	6.7(300)	6.7(300)	6.7(300)	6.7(300)	6.7(300)	6.7(300)	
	実績 B		円	△14.9(321.6)	△22.4(329.1)	△33.8(340.5)	△32.1(338.8)				
	達成率 B/A		%	△222.4	△334.3	△504.5	△479.1				
成果指標2	目標 A	単 位									
	実績 B										
	達成率 B/A		%								

1次評価	現状	既存の水道施設は、老朽化により更新時期を迎えることが多いことから、漏水対策を行っても、なかなか有収率の向上が図れない。本庁と支所間の距離、水道情報装置等の整備状況により、本庁一括管理が図れない。
	課題	水道基幹施設の老朽化による更新及び施設の統廃合、また、高度な水質を保つための施設整備が必要であり、今後も大きな設備投資を要する。国の指導により、平成28年度までに企業会計へ移行し、独立採算を基本としなければならないが、更なる受益者負担を招くため、組織の見直しを含めた計画的かつ慎重な準備を要する。
	改善	早期に本庁一括管理とし、積極的に施設の統廃合や組織機構の見直しを計画的に行い、より一層の合理化、効率化を図りながら、更なる給水コストの縮減を図る。

2次評価	町民のライフラインである水道施設の維持・管理は適正に行うこと。また基盤整備においてはローコストを念頭に計画的に実施し、運営においては経営計画を基として効率的かつ有効的な運営に努めること。
------	---

住民等の意見	
--------	--

町の対応	
------	--

※2次評価の公表後に住民等の意見があった場合には、再度公表するものである。